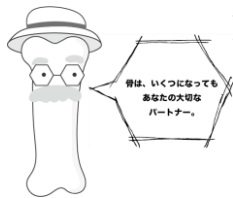


## 第2回健康教室のお知らせ

## 生活習慣病・骨粗鬆症

令和4年6月30日（木）午後2時～3時

講師 糖尿病看護認定看護師 定員20名（事前予約制）



ご予約QRコード



## 患者さんのご家族からのメッセージ

夫に関わってくださった全ての皆さまに感謝です。

夫は完全個室ブロックでペースメーカーを挿入し、退院後は、私自身も高齢のため老健を希望していました。しかし、本人が納得せずに「家」とのみ繰り返し、困り果てていたときに看護師さんが「後悔しないようにね。どうしても家におっしゃっていたら一度家に帰って、ダメと思ったら、また考えましょう。失敗しても大丈夫ですよ。」と声をかけてくださいました。

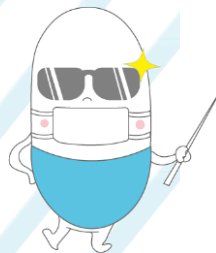
夫の入院中、私は、食事介助や吸引、おむつ交換の仕方を教わりました。家族は、私が倒れるのを心配していたので退院前に院内の「訪問看護ステーションあしたば」や「レスパイト入院」をお願いしました。そのことはすごく心強く、今では週2回デイサービスに行けるようになりました。入院時、「夫の命の終着駅を自宅に決めましたので、皆さまお世話になります。どうぞよろしくお願いします。」とその頃は、夫と私の終着駅は濃い霧の中で見えなくなっていました。

夫の体調不良を迅速に判断し素早い対応をして頂いたすばらしい医師や、家族の心に寄り添い優しく的確に介助の仕方を教えてくださる看護師さんにお会いできたことが嬉しくて誰かに伝えたくてペンをとりました。「あしたば」の皆さまありがとうございます。夫に関わってくださった全ての皆さまに感謝です。ありがとうございます。

そんなあなたに  
ぜひ、知ってほしい・・・



- 正直、お薬手帳は持ち歩いていません。
- 3種類以上の薬を内服しています。
- お薬手帳を2冊持っています。



“お薬手帳”  
今さら聞けない？

エトセトラ



薬剤局

今回、薬剤局の近藤さんにお薬手帳のエトセトラ  
について聞いてみました！

# 「お薬手帳」にまつわる エトセトラ

「お薬手帳」をご存じですか？  
病院に受診されているほとんどの方が持って見えると思います。  
今回は、なぜお薬手帳が必要か？をお話したいと思います。

## 「安全な医療」のために

お薬手帳を利用することによって薬の履歴・アレルギー歴が分かるだけでなく、薬の飲み合わせや重複服薬の確認などに役立っています。最近はお薬手帳アプリもあります。当院では予定入院時に内服中のお薬とセットでお薬手帳を持参してもらいます。薬剤師は、お薬手帳と持参された薬との照らし合わせを行い、以下のようなことがわかります。

- ① 効果不十分・副作用などの理由で血圧の薬が変更になった。
- ② 花粉症の時期のみアレルギーの薬を服用している。
- ③ 睡眠薬は適宜服用しているため、毎回は処方されていない。

これらの情報をもとに、病院の薬剤師はカルテに薬の情報を入力します。薬が変更になった経緯も知ることができ、安全な医療提供のためには大切な情報です。

特に、入院中に手術をするかたにとって、お薬の確認はとても重要です。代表的な薬としては抗血栓薬（抗血小板薬および抗凝固薬）があり、この薬を服用中の患者さんが出血を伴う手術や処置を受ける場合、出血の増加を防ぐために事前に休薬するなどの対応が必要となるからです。万が一、内服の中止を忘れた場合は、手術が延期になる場合もあります。手術以外にもヨード造影剤を使用する造影CTの時も一部の糖尿病薬を中止にする必要があります。このようにお薬手帳を持っていただくことは、より安全な医療につながっています。



## 災害時にも役立ちます

東日本大震災時に病院や調剤薬局が被災し、多くの医療情報が失われました。この時役に立ったのがお薬手帳です。近年、東海地区でも大規模災害が発生する可能性が指摘されています。大規模災害時に、稲沢市ではいつも利用している調剤薬局にお薬手帳の提示があれば、処方せんなしで3～7日分程度のお薬を調剤することも可能です。もしもの時のためにお薬手帳は大切に保管し、すぐに取り出せるようにしておきましょう。

## お薬手帳の上手な使い方

お薬手帳は各病院・医院ごとに1冊ずつ持つのではなく、全ての情報を1冊にまとめましょう。複数持つと他の薬との飲み合わせや重複している薬のチェックができなくなります。これでは、せっかくお薬手帳を持っていても意味がありません。1冊に全ての情報を記入してこそ、お薬手帳なのです。また、副作用や効果などで気が付いたことなども記入してご活用ください。

＼ おくすり手帳は ＼  
1冊にまとめましょう。



## お薬のことは薬剤師に相談を

医師から処方してもらった薬が余ったことはありませんか？薬が余る原因は、飲み忘れの他に服用方法が理解不足や服用時間と生活習慣が合っていないなどの理由が考えられます。

残薬が発生した際に「せっかく処方してもらった薬が余ってしまった。」と医師に伝えるのは失礼だと考え、医師に相談しないことも残薬が発生する要因となっています。その場合、かかりつけの薬剤師に相談することも一つの方法です。当日あるいは次回以降の処方方で調節が可能な場合もあります。

入院時には病院の薬剤師に薬の相談をしてください。服用されている薬の一覧を作成し、ベッドサイドで直接患者さんからお話をお伺いします。

入院では病院の薬剤師、外来では調剤薬局の薬剤師がみなさんの薬に関するサポートを行っています。

## お薬手帳の役割

- アレルギー、副作用のリスクを下げる
- 飲み合わせを防止する。
- 災害時の大切な情報源

※ お薬手帳は、あなたの安全を守ります。常時、携帯しましょう。



おくすり手帳  
かるた

